

みんなく創設50周年記念 国際シンポジウム

「フォーラム型人類文化アーカイブズ」プロジェクト

デジタル人文知が 作られるとき

(事前登録制)

2024 11.17 日 13:30

国立民族学博物館 本館2階第4セミナー室

✓ オンライン併用

定員 | 現地参加者30名、オンライン参加者300名

言語 | 日本語 英語同時通訳あり、12月に日英2言語でオンデマンド配信する予定

デジタル人文学とはなにか、

それが対象とするデジタル人文知とはなにか。

デジタル技術そのものが進化をとげるなかで、

それらは時代に応じてたえず変化してきた。

このことは、国立民族学博物館が1974年に創設されてから現在にいたるまで、

いかにコンピュータと向きあってきたかをみれば一目瞭然である。

本シンポジウムでは、50年にわたる同館の試みと近年の広範な活動を一望し、

デジタル人文学が社会にむけてどのような知を提供できるか議論する。

主催：国立民族学博物館

企画：「フォーラム型人類文化アーカイブズの構築にもとづく持続発展型人文学研究の推進」プロジェクト

(人間文化研究機構 機関拠点型基幹研究プロジェクト)



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

✓ 申込方法

下記のURLまたはQRコードで公式サイトにアクセスし、
フォームを用いて連絡先などをお知らせください。
https://www.minpaku.ac.jp/ailec_event/54752



✓ 見逃し配信

同じく公式サイトでリンクをご覧になれます。
言語は日本語と英語です。
配信期間は11月25日頃から1ヶ月間の予定です。

プログラム

13時30分 **開会挨拶** 吉田 憲司 (国立民族学博物館)

13時40分 **趣旨説明** 飯田 卓 (国立民族学博物館)

国立民族学博物館におけるコンピュータ利用 —— 図書検索からフォーラム型アーカイブズまで

14時10分 **発表1** 丸川 雄三 (国立民族学博物館)

研究資料デジタルアーカイブの公開と活用 —— X-DiPLASの取り組みを例に

14時30分 **発表2** 日高 真吾 (国立民族学博物館)

国立民族学博物館における標本資料データベースの制作と今後の展開

14時50分 **コメント1** 宮前 知佐子 (国立民族学博物館)

15時00分 **コメント2** 大矢 一志 (鶴見大学)

15時10分 休憩

15時30分 **コメント3** カトリン・ランゲヴィーシェ (マインツ大学)

15時40分 **コメント4** シェルシュティ・ラルセン (オスロ大学)

15時50分 **コメント5** ウィリアム・ニツキー (カリフォルニア州立大学チコ校)

16時00分 **総合討論**

16時50分 **閉会挨拶** 宇田川 妙子 (国立民族学博物館副館長)



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

●開館時間……… 10:00～17:00(入館は16:30まで)

●休館日……… 水曜日(水曜日が祝日の場合は直後の平日)

交通のご案内

●大阪モノレール… [万博記念公園駅]、[公園東口駅]下車徒歩約15分

●バス……… 阪急茨木市駅・JR茨木駅から[日本庭園前]下車徒歩約13分

●乗用車……… 万博記念公園[日本庭園前駐車場](有料)から徒歩約5分

※本シンポジウムにご参加の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。

※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

●観覧料……… 一般 580円 / 大学生 250円 / 高校生以下 無料
※観覧料割引についてはホームページをご確認ください。

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel: 06-6876-2151(代表)
Fax: 06-6878-8479
<https://www.minpaku.ac.jp>

